

エコビジネスのブランド化

企業概要

衣類に必須な日用品の国内最大のメーカーで、様々なブランドを持っているが、近年、消費者の関心が高い、環境にやさしい商品のブランド化を目指している。

県内に主力の製造工場があり、知的財産についても工場メンバーが中心となり動いている。

環境にやさしい商品とは具体的に、商品の素材はパルプと合成樹脂の複合材から成るが、木材から作られるパルプの代わりに、1年草であり成長の早いサトウキビの繊維を用いている。砂糖を絞った後の本来なら廃棄物となるサトウキビの繊維を利用するので、二重の理由で環境負荷の低減となる。

きっかけ

従来から、製造方法の特許化で当窓口の支援を受けていたが、環境にやさしい商品を知的財産で守れるかとの新規の相談を受けた。

支援内容・ポイント

弁理士を派遣し、まず、どの知的財産の対象となるかの検討を行い、特許権利化の困難性を考慮し、商標登録を選択した。

商標も、企業側の思い、登録可能性を考慮し商標を選定して出願し、商標登録された。

企業側でも、環境に配慮した商品であることを前面にPRを開始した。

成果

多くのブランドを持っているが、新たに環境に配慮したブランドを立ち上げ、環境に配慮した商品を選択する消費者に商品を提供できるルートを開拓した。

上記の他に、素材にこだわった商品のブランド化を目指し、商標出願を進めている。

今後の課題は、様々なブランドを束ねるハウスマーク的なブランドの確立である。